

第2回講演会 -シングルマザーが抱える真の社会問題と持続的支援のあり方-

映画『取り残された人々 日本におけるシングルマザーの苦境』 上映会 & パネルディスカッション

入場
無料

主催：大阪公立大学大学院経営学研究科 CSV経営研究プログラム

オーストラリア出身の男性ライオン・マカヴォイ監督が、日本におけるシングルマザーの苦境や子どもの貧困問題について素直に疑問として映像化をし、世界各国の映画祭で注目を集めているドキュメンタリー作品です。

このたび大阪公立大学大学院経営学研究科 CSV経営研究プログラムの主催で特別上映を行います。上映後は監督や出演者をお迎えし、ひとり親や子どもの貧困課題に取り組む専門家によるパネルディスカッションを開催、社会課題解決に向けたアクションを議論します。奮ってご参加ください。



日時：2025年9月6日(土) 13:30～16:30

場所：大阪公立大学 杉本キャンパス 140周年記念講堂
大阪市住吉区杉本3丁目3-138

プログラム

13:00 開場

13:30 開会の御挨拶

13:40 上映会

15:10 パネルディスカッション

「日本におけるシングルマザー問題と
その解決に向けて」

小林哲教授、マカヴォイ監督
山野則子教授、西田真弓理事、他

16:10 ネットワーキング(お名刺交換)

16:30 閉会

マカヴォイ監督
登壇！

課題解決に向け
たネットワーキン
グ



お申し込みは
こちらから



大阪公立大学
小林哲 教授



ライオン・
マカヴォイ監督



出演者
中山登美子



大阪公立大学
山野則子 教授



一般社団法人
ハートフルファミ
リー 西田真弓

Directed by Rionne McAvoy

THE ONES LEFT BEHIND

THE PLIGHT OF SINGLE MOTHERS IN JAPAN

取り残された人々： 日本におけるシングルマザーの苦境

ライオン・マカヴォイ監督

多くの映画祭で注目を集めたこの作品は、外国人監督が「日本の隠された真実」を描いた78分の長編ドキュメンタリー作品となる。

世界第4位の経済大国日本。先進国でありながら、日本の子どもの7人に1人が貧困状態にある。しかしながら、なぜその現実が見えてこないのか。日本の社会、文化、歴史を様々な角度から深く掘り下げ、日本の隠された現実を外国人が感じる素直な「違和感」として映画化した作品となる。

また、この作品に携わった日本人女性のプロデューサーも、2世代でシングルマザーを経験している。長年感じ続けてきた「漠然としたこの国での生きづらさ・女性への不平等さ」の原因を共にひも解くことで、女性たちの声を代弁し、他にはない作品となったと語る。

彼女は当事者の日本人には描けなかった「母として生きる辛さからの解放」と述べている。

今後私たちはどうあるべきなのか。。。あなたの心に訴えかける作品である。



制作会社：ジャパンメディアサービス株式会社



共催：大阪公立大学CSV経営研究会、大阪公立大学女性研究者支援室、一般社団法人グラミン日本、
大阪公立大学こども未来創造プラットフォーム、一般社団法人こども未来社会研究所

後援：大阪公立大学女性学研究センター、牛乳石鹼共進社株式会社、大研医器株式会社、
一般社団法人ハートフルファミリー